

# U.S. Indicators

発表日：2020年7月17日(金)

## 米国 感染拡大を伴いながら6月小売も回復

～感染拡大が消費の回復ペースを抑制へ～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

米国では、4月下旬からのロックダウンの段階的な解除を受け、店舗が再開され、外出も増加したため、消費活動は回復し始めた。3、4月に労働市場が急激に悪化したのが、給付金や失業保険の上乗せなどの政府支援策によって所得が押し上げられたほか、失業者の大多数は自分自身が一時的な休職と認識しているため新型コロナウイルスの問題が落ち着けば職場復帰できると考えていること、企業が販促を強化したこと等によって、4月下旬以降に小売売上高は急激に回復した。ただし、拙速なロックダウンの解除やマスクの不着用などによって、6月下旬以降に新型コロナウイルスの感染拡大が加速していることから、ソーシャルディスタンスの維持・強化策を取らざるを得ず、7月以降の小売売上高の回復ペースは抑えられると予想される。

6月の小売売上高は、前月比+7.5%と市場予想中央値の前月比+5.0%を大幅に上回った(4、5月合計0.5%上方修正)。5月に前月比+18.2%と急回復した後で鈍化したのが、急速な回復の動きを維持した。また、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高も、前月比+7.3%と市場予想中央値(前月比+5.0%)を大幅に上回った(4、5月合計0.3%下方修正)。5月に前月比+12.1%と高い伸びだったことで鈍化したものの、予想以上の回復ペースとなった。

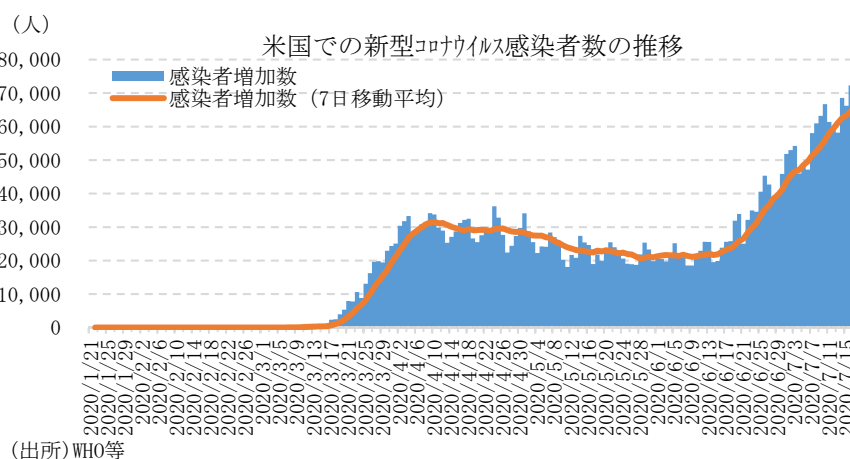
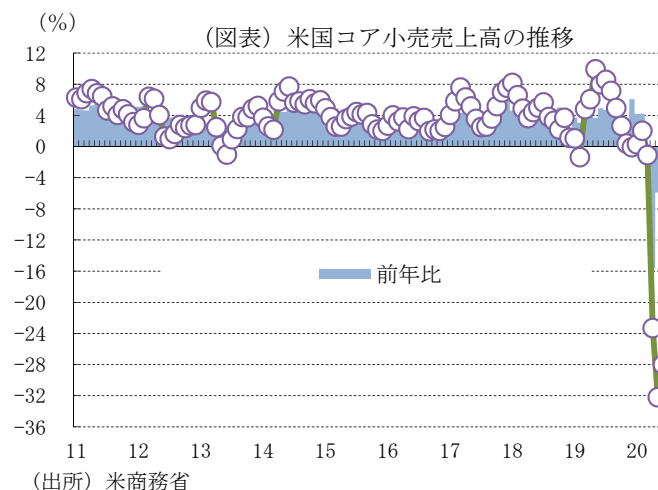
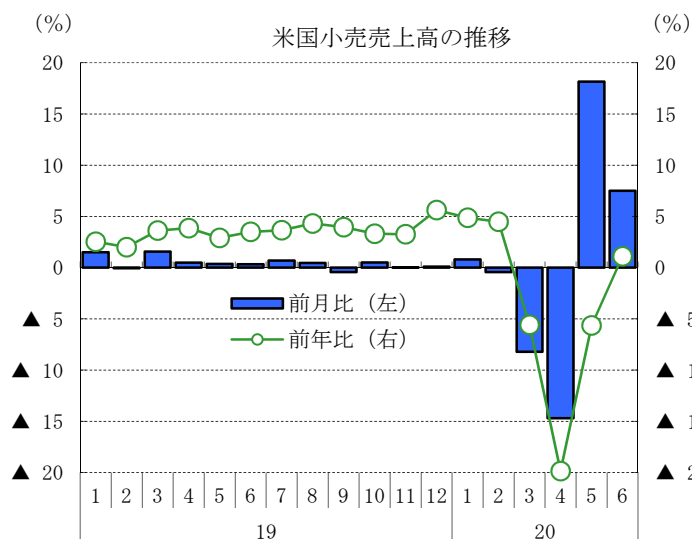
小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高(自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高)は、前月比+7.3%(前月同+12.3%)と鈍化したのが、高い伸びとなった(4、5月合計0.5%下方修正)。ただし、コア小売売上高の基調をみると、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で6月に▲28.0%(5月▲32.2%)と大幅なマイナスにとどまっている。また、4-6月期では前期比年率▲28.0%と1-3月期の前期比年率▲1.1%、10-12月期の前期比年率▲0.1%からマイナス幅を大幅に拡大しており、4-6月期の個人消費の急減を示している。

6月小売売上高(主要13業態)では、3業態が減少した一方、10業態が増加した。外出制限によって売上が押し上げられていた無店舗小売、食品・飲料、建設資材店が反動で減少した。

一方、衣料品、家具、スポーツ用品・本・趣味用品、自動車・同部品は5月に3、4月の落ち込みを上回って急回復したにもかかわらず、大幅な増加となった。衣料品が前月比+105.1%、家具が同+32.5%、ゼロ金利ローンなどの販促強化によって自動車・同部品が同+8.2%増加した。また、家電は2ヵ月連続で高い伸びとなりコロナ危機前の水準を取り戻した。他方、百貨店など一般小売、ガソリンスタンド、薬局、その他小売、飲食店は増加したが、3、4月の落ち込みを取り戻せていない。

6月小売売上高(前月比+7.50%)の主要13業態での前月比寄与度をみると、押し下げ寄与となったのは、無店舗小売▲0.38%(5月+1.25%)、食品・飲料▲0.17%(同+0.32%)、建設資材▲0.02%(同+0.92%)の3業態にとどまった。一方、押し上げ寄与となった業態では、大きい順に、衣料品+3.43%(5月+3.02%)、飲食店+1.81%(同+2.56%)、自動車・同部品+1.73%(同+

10.18%)、ガソリンスタンド+0.98% (同+0.71%)、家具+0.59% (同+1.17%)、家電+0.50% (同+0.38%)、スポーツ用品・本・趣味用品+0.42% (同+1.04%)、その他小売り+0.35% (同+0.30%)、百貨店を含む一般小売+0.31% (同+0.72%)、薬局+0.19% (+0.08%) の10業態となった。



### 小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	除外		耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
	除く車		自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン			
19/09	▲0.4	(+4.0)	▲0.3	▲1.0	▲1.1	+1.2	+0.4	▲0.4	▲0.1	▲0.5
19/10	+0.5	(+3.3)	+0.4	+0.6	+0.9	▲0.8	▲0.6	+0.6	▲0.4	+1.6
19/11	+0.0	(+3.3)	▲0.3	+1.1	+1.5	+0.2	▲0.4	▲0.3	▲0.6	+0.6
19/12	+0.1	(+5.6)	+0.5	▲0.8	▲1.6	▲1.9	+0.5	+0.4	+2.8	+1.2
20/01	+0.8	(+4.9)	+0.8	+1.5	+0.8	+4.0	+0.8	+0.4	▲0.6	▲0.6
20/02	▲0.4	(+4.5)	▲0.5	▲0.7	▲0.4	▲0.1	▲1.3	▲0.3	▲1.6	▲2.9
20/03	▲8.2	(▲5.6)	▲3.8	▲19.6	▲25.9	▲22.1	▲17.6	+2.3	▲48.7	▲16.5
20/04	▲14.7	(▲19.9)	▲15.2	▲13.5	▲12.2	▲48.9	▲43.4	▲12.3	▲73.5	▲24.5
20/05	+18.2	(▲5.6)	+12.1	+38.5	+48.7	+79.1	+36.5	+8.6	+176.7	+11.9
20/06	+7.5	(+1.1)	+7.3	+8.3	+8.2	+32.5	+37.4	+5.4	+105.1	+15.3

(注) 数字は季調済前月比。但し、( ) 内は前年同月比 (未季調)。

\*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

\*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。